



ラリー・ウィリアムズのパートナー **なりた・ひろゆき**

米アノマリーの第一人者、エール・ハーシュのあとを継いだ **ジェフリー・A・ハーシュ**による

主要市場を分析した最新相場予測レポート！

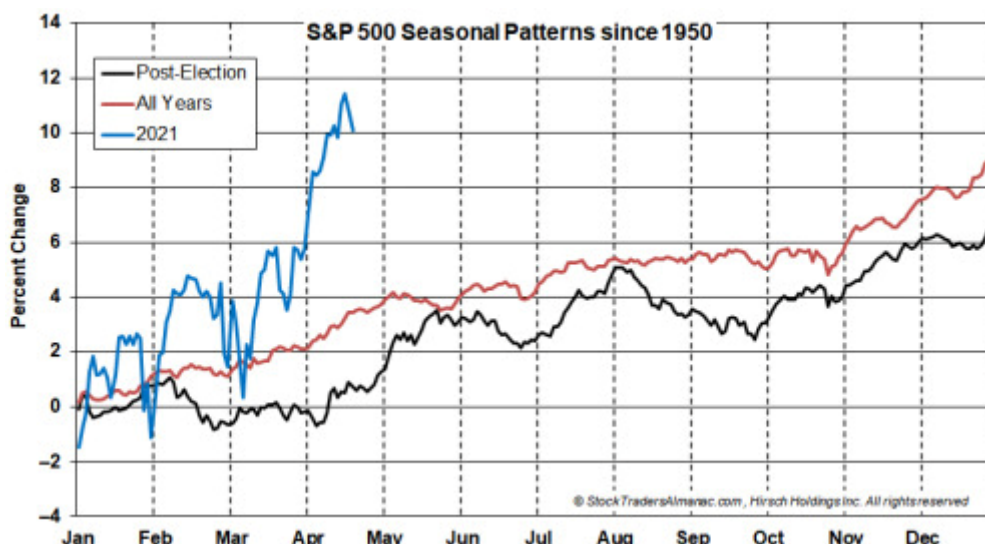
▼▼▼ご購入の詳細はこちら▼▼▼

<http://trs.jp/p/5962/201141120000>

2021年4月21日

Next Bump in Post-Election Year Rally Could Be in May

選挙翌年の上昇の次の問題時期は5月かも



1950年以降のS&P500のシーズナルパターン

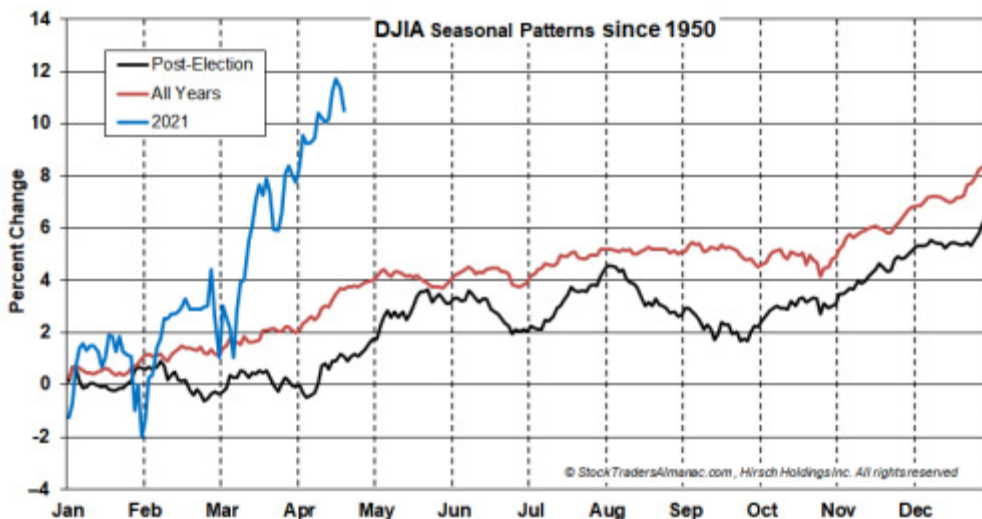
Post-Election: 大統領選の翌年

All Years: 全年平均

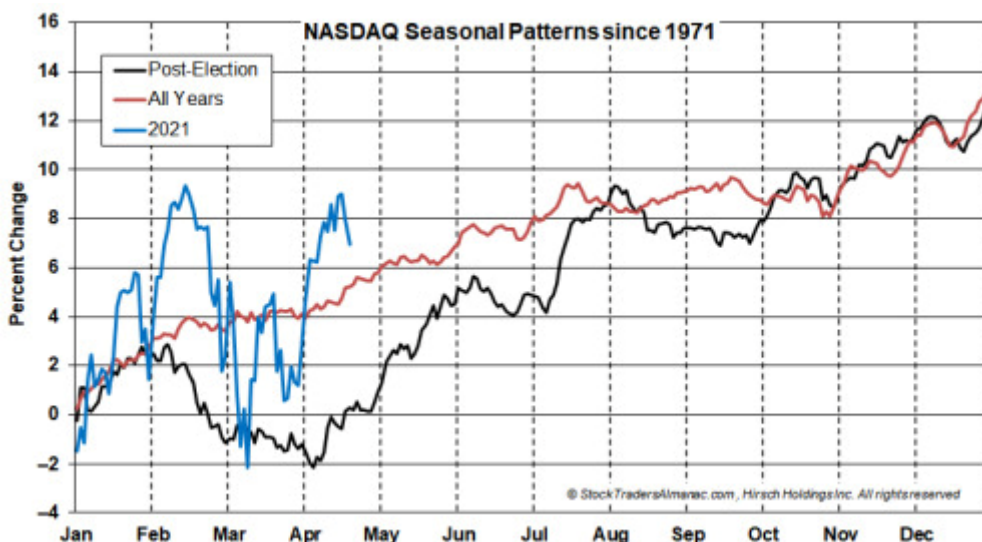
昨日の引け時点で、ダウは年初来で+10.5%の上昇。S&P500は+10.1%、ナスダックは+7.0%の上昇となっている。上表と下表のチャートにグラフ化されている1950年以降の選挙翌年の平均値と比較して、ダウ、S&P500、ナスダックはいずれも、現地点で過去のパフォーマンスを悠々と上回っている。

Covid-19の影響で、2021年はこれまでの選挙翌年平均よりもボラティリティが高い。パフォーマンスの大きな変動に加えて、SQ後の2月の不安定さと3月の弱さという季節性の下げからの回復が観察されている。今年の4月の強さは、過去の選挙翌年の4月の強さと一致している。

歴史的に見て、現在の上げで次に懸念されるのは、5月中旬以降である。この時期は、第1四半期の決算期が終わり、第2四半期の決算発表や卒業式など初夏のイベントに焦点が移る頃でもある。



1950 年以降のダウのシーズナルパターン



1971 年以降のナスダックのシーズナルパターン